

重点施策点検・評価表

4-1

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する		担当課(館)
	① 企画(特別)展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信		歴史文化課
	活動内容	HPの更新や、ツイッター、フェイスブックの情報発信目標(風穴館を含む)を、年間300件と設定して取り組む。企画展(特別展)については、銀座清澄画廊展、埋蔵文化財センターの展示などを継続して開催する。展示以外の情報として、ニホンザリガニの飼育情報などについても効果的に発信できるように取り組む。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 施設情報・天然記念物・イベントなどHPの更新35回、ツイッター170件、フェイスブック293件、合計498件の情報発信を行った。また風穴館のYou tube(動画)の視聴回数は513回、ニホンザリガニの動画もリアルタイムで発信した。 博物館の企画展で郷土写真家の作品展示をしたことで非常に多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。	
	課題等	HP、ツイッター、フェイスブックによる発信効果は、年齢層が限定されることから、紙媒体の新聞、広報などを活用するなど、効果的な情報発信を考えていかなければならない。また各種企画については、お互いの特性を活かして他団体との連携や共催を検討していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	当然継続してやっていくことになると思う。特にザリガニは大館の目玉になっていくと思う。子どもたちも楽しめるし、大館をアピールしていくために良いことである。	
	② 秋田三鶏記念館の孵化事業の安定化		歴史文化課
	活動内容	入卵数の目標を400個に設定し、有精卵の70%を上回る孵化率を目標として、4月から6月まで実施する。入卵開始を少し遅らせることで、入卵数の回復に努めたい。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 入卵数は502個と目標を上回ったが、有精卵に対する孵化率は62.5%と目標を下回った。目標を下回った原因は、孵化率が低い声良鶏の入卵が多かったためだが、気候を見て入卵時期を若干遅らせたほか、3回に分けた孵化についても順調に育雛をすることができた。	
	課題等	安定した卵数を確保できるよう関係者及び関係団体との連携が必要と考える。また、継続して気候を見ながら入卵時期を遅らせるなど、慎重に孵化率の向上に努めていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	うまく孵化して育ててくれればいいが、飼育者が高齢化しているという問題もあり大変難しいところがあると思う。しかし、昨年同様に県に働きかけるなりして、ザリガニ同様皆さんの力で頑張っていたいただきたい。	

重点施策点検・評価表

4-2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課(館)
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する各団体の芸能の記録保存に努め、発表や公開の機会を支援する。また、大館市文化財保護協会の事業を支援し、市内に存在する文化財の公開や保護に努める。今年度は、伝統文化親子教室事業でも更なる発表の機会が期待されている。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	大館市文化財保護協会と共催する文化財展覧会では、市内に存在する文化財について広く公開することができた。また、大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、地域の小学生へ郷土芸能を継承する機会を設けたり、他課で開催した伝統文化親子教室に協力し鹿鳴ホールで発表することができた。
学識経験者等の意見	両団体ともに高齢化が進み、独自の事業を継続することが難しい時代を迎えている。しかし、小学校において地域の郷土芸能を継承している活動もあることから、それらとの関わりを検討していきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	
学識経験者等の意見	
	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	① ニホンザリガニ生息地の再生を目指す
	歴史文化課
活動内容	天然記念物としてのニホンザリガニ生息地再生を目指し、ニホンザリガニの飼育と繁殖に取り組み、その技術習得に努める。今年度は増殖事業の2年目となり、稚ザリガニの育成技術が更に向上することが期待される。人工生息地については、いよいよ工事に入るので、良い環境が整えられるよう取り組みたい。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 飼育展示・特別展・YouTubuなどを通して、天然記念物保存の意義や増殖事業の経過について教育普及に努めた。また、男鹿水族館から増殖研究の協力を得たり、札幌で先進事例を発表するなど、対外的な事業も展開し大きな成果とした。人工生息地創出工事は、予定通り完成した。
課題等	博物館で飼育しているニホンザリガニについて抱卵した卵が孵化する前に消失してしまった。原因を探り対処しながら、引き続き増殖技術の習得に努めていく。また、人工生息地へ定着できるよう環境の観察を継続していく。
学識経験者等の意見	卵が消失してしまったとのことで残念だが、原因を探り新たな取り組みをしているようなので頑張っていたきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	新庁舎建設予定地の発掘調査は終了したので、今年は市民体育館・武道館解体部分に取り掛かることになる。まずは関係部署と協議しながら、6月補正予算に事業費を計上し、発掘調査は今年度内に終了予定。官民の開発事業に係る調査も増加しているが、今年度は特に釈迦内館跡の調査が5月から8月頃まで予定されている。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 新庁舎建設に伴う予定地(大館城跡)の発掘調査は目標通り12月には完了、官民の開発事業に伴う調査は12件実施した。しかし、釈迦内館跡については相手方の都合で開発行為が中止となり調査は未実施となったが、これについてはやむを得ない。
課題等	大館城跡の発掘調査は今後も続くため、関係部局とは綿密に協議を重ねながら事業を進める必要がある。また、出土品の整理保存や記録報告を確実・丁寧にしていく。 大館城は歴史的に興味深い分野と考えるため、時機を見て調査の成果について情報発信をしていきたい。
学識経験者等の意見	昨年度、新市庁舎のそばに歴史文化館が欲しいと意見したところだが、新市庁舎内にコーナーを作れるようだと説明があり頑張っていたきたいと思う。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-2

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える		担当課(館)
	③ 鳥潟会館庭園の国指定を目指した取り組みを進める		歴史文化課
	活動内容	国の名勝指定を目指す取り組みとして、文化庁の名勝地調査事業がスタートする。調査期間は3年間とし、最終的には名勝指定の申請に耐えうる報告書の刊行を目指す。初年度は調査委員会の立ち上げと、庭園の堆積土除去、測量などを行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	単年度区切りの事業ではないため、スケジュールに沿って遅滞なく進めていくことが重要。また、文化財の価値や文献調査等については専門知識を要するものであるため、委員からご意見を伺いながら慎重に進めていく必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	事業の補助率は65パーセントと良いと思うので、補助があるうち3年間頑張っていたきたい。	
			歴史文化課
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等		取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見		

重点施策点検・評価表

4-4

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める		担当課(館)
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織の支援に努める		歴史文化課
	活動内容	「文化遺産活用まちづくり実行委員会」の事業は2年目を迎える。民間の実行委員会であるが、実績に結び付くよう積極的に支援していく。今年度は、ヘリテージマネージャーのステップアップ講座や、大館神明社祭典実行委員会、大館ばやし保存会では、外国語にも対応するパンフレットやホームページ、動画作成等の事業が予定されているので、まちづくり課とも連携しながら、予定されている事業が順調に進むように支援を行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 文化遺産活用まちづくり実行委員会の予定していた事業(ヘリテージマネージャー養成講座、後継者育成、シンポジウム開催など)は予定通り実施し、確かな実績を作った。また事業の実施にあたり、実施団体や関係課と連携を図り、県文化財保護室や文化庁とも協議しスムーズに進めることができた。	
	課題等	歴史まちづくりのソフト部分として、伝統芸能の継承や歴史的建造物の保存活用など期待が高いものの、本委員会への参入団体が少ない。今後、事業が自立していくために賛同する団体を増やしていく必要があるため、事務的支援を続けてハードルを下げていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	文章中にあるヘリテージマネージャーだが、カタカナ表記だと事業全体の意味が分かりにくい。今後は誰でも一目で理解できるように()書きして説明いただきたい。	
	② 重要文化財大館八幡神社の覆屋改修に取り組む		歴史文化課
	活動内容	重要文化財大館八幡神社を保護するために、覆屋の建て替えを行う。昨年度作成した実施設計に基づき、今年度ははいよいよ建替工事を行う。当事者(八幡神社)、市、県、文化庁の連携をとりながら、遺漏のないように取り組む。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 予定外の改修部分が追加されたため若干期間は延長したが、改修工事が完了した。また、当事者、市、県、文化庁、関係課とも連携し、国交省の所管する歴史的風致形成建造物の改修事業と、文化庁補助事業との調整も行うことができた。	
	課題等	令和元年度で事業終了	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	重要文化財の八幡宮を守る大事な覆屋の改修、令和元年度で事業が終わりとのことでご苦勞様でした。	